

神戸っ子
2005

n'KOBECCO

kobecco.co.jp



2005年 9月10日(土) ～ 2006年 1月9日(月・祝)

前期展示:9月10日(土)～10月30日(日) 後期展示:11月3日(木・祝)～1月9日(月・祝)

特別展 SPECIAL EXHIBITION
コレクション大公開! (Version2)



小磯良平「ママキャン」1972 本館蔵

—昨年の「コレクション大公開!」展が好評を博しましたので、再び、当館のコレクションを一挙大公開します。小磯良平の作品や金山平三、田村孝之介、鴨居玲など、神戸で活躍した画家たちの作品など、前回の展示ではご紹介できなかったものや、近年収集した新収蔵作品を初公開いたします。

■開館時間 午前10時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

■休館日 毎週月曜日(月曜日が祝休日の時はその翌日。
ただし、10月3日は開館)
11月1日、2日、12月28日～1月4日

■入館料 ※特別展などの入館料はそのつど定めます。

区分	個人	団体(30名以上)
一般	600円	450円
高校・大学生	400円	300円
小学・中学生	250円	150円

神戸市ののびのびパスポートで無料、
すこやかカードで半額
※詳しくはお問い合わせください。

■入館無料日 10月3日(KOBE観光の日)
11月19日、20日(関西文化の日)

■交通 JR住吉駅・阪神魚崎駅のりかえ新交通六甲ライナー「アイランド北口」駅(住吉駅から7分、魚崎駅から5分)下車、西へ徒歩すぐ・六甲アイランド公園内
※公園の地下には市営駐車場(有料)があります。



神戸市立小磯記念美術館

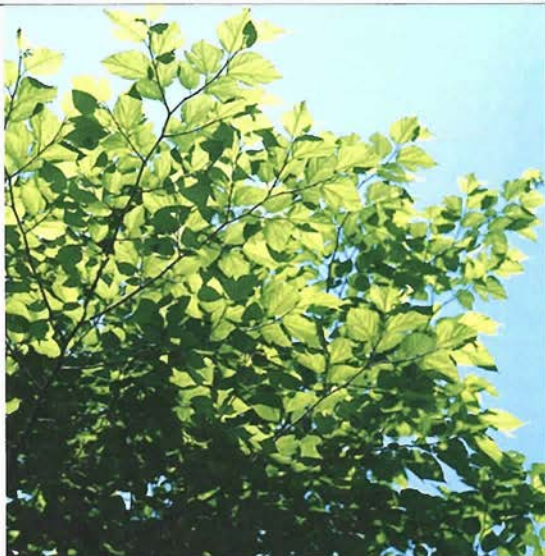
〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中5丁目7
☎078-857-5880

http://www.city.kobe.jp/cityoffice/57/koiso_museum/

「さんちか」は
神戸・三宮のショッピングエントランス

季節ごとに楽しめる おしゃれ・グルメ

電車やバスを降りたら、そこは「さんちか」。
ショッピングやお食事を楽しんだら、
そのまま帰れるターミナルにあるさんちかは、
素敵な暮らしの情報ステーションでもあります。
ショッピング、グルメ、わくわくするイベントの数々を、
おしゃれ感覚でお楽しみください。



さんちかメンバーズカードは、より便利に、よりお得にパワーアップ!
Orico Card/Master Card Orico Card/VISA Orico Card/JCB

【さんちかメンバーズカード】初年度年会費 **無料**

2年目以降年会費1,312円(税込)

- ポイント1** スタート・プレゼント!! 入会後5ヵ月間だけのビッグチャンス!! 点数に応じて、最高5,000円分の商品券がもらえます。
- ポイント2** 全てのショッピングご利用にポイントがつく!!
- ポイント3** 年間のご利用金額に応じてボーナスポイントもたまる!!
- ポイント4** JALマイレージ、ドコモプレミアクラブへのポイント移行も可能!!
- ポイント5** たまったポイントは好きな商品との交換も可能!!
- ポイント6** うれしい5%割引!! 5,000円以上ご利用いただくと、さんちか各店でご利用金額の5%を割引します。(ただし一部の商品を除きます。)
- ポイント7** さんちかでショッピングご利用の場合、分割払い3回まで手数料がかりません!!

※2005年11月、オリコカードのポイントは新ポイントサービス「クラスマイル」へ。
詳しいご説明はご利用代金明細書でご案内させていただきます。

さんちか名店会
神戸市中央区三宮町1-10-1 TEL.078 (391) 3985
営業時間/AM10:00～PM8:00
(飲食店はPM9:00オーダーストップ)

santica
The New Heart of Kobe 神戸三宮さんちか
<http://www.santica.com>



ホラ吹くゾ！(2004)

田中和人



作家プロフィール



田中和人(たなか かずひと)

中国・漢口生まれ。濱田庄司の弟子にあたる奥田康博に師事。1981年、三田市内に木器窯を開く。地場の土を使用した陶土をひねり、登り窯で焼くという伝統的な手法を守りつつ、オリジナリティあふれる作品を制作。サロン・ド・ポートピア陶芸教室をはじめとして各地で教室を開講し陶芸の魅力を伝えるのみならず、舞台やイベントの企画など地域の芸術文化振興にも尽力している。

木器窯
三田市 木器 709-37
☎078-569-1225

音に聞く窯変の妙

蛸の頭のような丸みを持つ陶の笛。この不思議な形は、逆転の発想から生まれた。ろくろでは普通、口を上成形するが、この作品は、まず器を作る要領で形



を作り、徐々に先をすぼめてやがて上部を閉じてしまう。そのまま一昼夜置くと、閉じこめられた空気が絶妙な歪みを醸す。ろくろで下にしていた方に吹き口と穴を開ければ形は完成。この手法は、吹きガラスの技法からヒントを得たそうだ。

そしてこの奥深い模様と色合いは、偶然の産物か神の仕業か。三田・木器こうぎの土のおだやかな風合い。そこに自然と降りかかった登り窯の薪の灰が高温で溶け、自然釉となつて見事な景色を生み出す。三日三晩燃えたぎる炎と、窯の中の無為自然から生まれた艶つぼさは、人智を越えた境地から創造される。

手にすればすつと馴染む、たおやかな曲線とやさしい肌触りに田中さんの温もりを感じ、「手仕事は一面に心の仕事」という柳宗悦の言葉を思い出す。

人々を薫陶する美しさと吹聴しても、ホラ吹きだとは言われまい。

—SECOND COVER—

これは神戸を愛する人々の手帖です。あなたのくらしに楽しい夢をおくる、

神戸を訪れる人に楽しい道しるべ、これは神戸っ子の心の手帖です。



CONTENTS

6 特集Ⅰ KOBEで感じるブライダル

- 7 ポエム・ド・コウベ
浮遊空間「ソラ」 福井久子
- 8 対談 お茶でものみますか⑤
「結婚はゴールではなく新たな生活のスタート」
山口光 (ディアコニア大阪教会主管牧師)
VS 玉岡かおる (作家)
- 13 神戸ウエディングフォーラム
- 14 神戸ウエディング会議
- 16 プランナーが語る
KOBEスタイルウエディング



36 特集Ⅱ 芸術・文化・ひょうご

- 37 「愛のない作品は作品でない」
彫刻家 新谷瑠紀氏 インタビュー
- 42 画家・鴨居 遡って20年 伊藤誠
- 44 平田郁 バリの風を描く
- 46 感透音神戸主催「音色の不思議コンサート」
- 47 三田ほんまち交流館「緑」オープン



- 2 ART VIEW④／ホラ吹くゾ!：田中和人
- 50 上田千華 presents ちかなび ONE DAY TRIP④

9月号目次◆2005

表紙／石阪春生

- 54 <連載> 田中まこの神戸が撮っても好き⑥／
ミュージックビデオクリップ
- 58 神戸のお嬢さん／千頭加奈子さん・安田亜里沙さん
- 60 <連載> 木村多恵子の暮らしのエスプリ<9月>
- 62 KOBECCO2005／パスカル・ヴェレ 村岡沙雪
- 64 ある集い／兵庫県日韓親善協会・神戸山手女子高等学校32回生緑会
- 66 火の国熊本熱か女ばい 風さやか熊本ディナーショー
- 68 和の道を求めて④ 伝統芸能の継承者たち
福田龍之介さん
- 70 マハニム母子寮に愛を/福井宗芳師 文・今村隆
- 72 <連載> トウインクル&ビッグ⑬ 藤原健二
- 74 <連載> 神戸ゆかりの源平浮世絵
「安芸の宮島・厳島神社に美しい弁財天現る」 中右瑛
- 76 <連載> 海船港 「八丈島・神津島クルーズ②」 上川庄二郎
- 88 有馬歳時記 「有馬の湯で夏の疲れを癒しましょう」
- 80 でん太の教えてドクター
- 82 私の意見／西川勝実
- 83 ぴつといん「mamma mia cafe」
- 84 イベントスケジュール
- 86 ポケットジャーナル
- 88 <連載> プロフェッサーPの研究室 岡田淳
- 90 <連載> 震災エッセイ⑥ 文・大谷成章 剪画・とみさわかの
- 92 <連載> 五線紙の街⑨ 文・宮田達夫 絵・中西省伍
- 94 <連載> コーヒーカップの耳⑤ 文・出石アカル 絵・菅原洗人 題字・六車明峰
- 96 <連載> 鏡の中のサムライ⑪ 文・中野順哉 絵・平田郁
- 102 コウベスナップ
- 104 Kitano Hot News 「グーニー北野」
- 107 法人ニュース
- 110 神戸うまいもん&ドリンクINGNEWS 「Cafe de 佛蘭西」
- 111 神戸百店会だより 「末猿製額」
- 124 表紙のこぼれ
- 125 Present
- 126 編集後記
- 127 定期購読のご案内
- 128 Last Photograph⑥／中山岩太

写真／フォトスタジオPROX (久保実 久保佳正 来間孝司)

特集 KOBЕで感じる ブライダル

神戸は、山と海に囲まれた
おしゃれな街。
そのロケーションは、
永遠の愛を誓う
ウエディングにふさわしい。
「KOBЕスタイルのウエディング」を
N' KOBECOから発信します。

- ★ボエム・ド・コウベ/福井久子
- ★対談/山口 光 vs 玉岡かおる
- ★神戸ウエディングフォーラム
- ★神戸ウエディング会議
- ★プランナーが語る
「KOBЕ スタイル ウエディング」

- ホテルオークラ神戸
- 神戸ポートピアホテル
- 神戸メリケンパークオリエンタルホテル
- シーサイドホテル舞子ビラ神戸
- KITANO CLUB sola
- 神戸北野ハンター迎賓館
- ウェスティンホテル淡路
- 北野ガーデン
- ウエディング サロン イノウエ
- 美容室エリザベス

衣裳撮影協力/ウエディング サロン イノウエ、
ヘア&メイク/住本りつ子 (Stylish Wedding)
モデル/田辺実穂、カメラ/フォトスタジオPROX

ポエム・ド・コウベ

浮遊空間 「ソラ」

福井久子

ここは

自然との一体化を試みる館

外部と内部を仕切るのは柱と板ガラスのみ

微妙な緊張感と開放感が混在する屋内

天井から降る自然光の下を

小川が流れ、架かる

石橋を渡る意志を確かめてくる――

その先に待っている

鋭角に削りとられた直方形のまるで洞窟

粗い碎石で取り囲まれた堂内はほの暗く

原始とモダンが結合した聖なる空間

祭壇の背面を天井まで占める

ステンドグラスならぬ透明なガラス片

一切の彩色を廃して

天空の光は射し込む

と

花婿と花嫁の情熱は白い炎となって立ち登り

人々は二人を囲んで浮遊する



上/「KITANO CLUB sola」から神戸の街を眺む
下/天空(そら)の教会

結婚はゴールではなく 新たな生活のスタート



山口光

ディアコニア
大阪教会主管牧師

VS

玉岡かおる

(作家)



結婚のスタイルは人それぞれ。結婚に対するスタンスも、時代とともに大きく変わってきている。結婚の意味は？そしてその本質は？
ホテルオークラ神戸のチャペルで数々の誓いに立ち会ってきたディアコニア大阪教会主管牧師の山口光さんと、山口さんの父の教養子でもある作家の玉岡かおるさんに、ご自身の経験を踏まえながらお話しいただいた。

結婚と結婚生活 様々な価値観

玉岡 結婚式の思い出といえば、山口さんのお父様でもある大学時代の先生（元神戸女学院大学学長・故山口光嗣氏）にスピーチしていただいたことですね。ゼミの同期では私がいちばん遅かったのですが、それでも25歳の終わりでした。いまでは決して遅いほうではないですね。いまの子は大学を卒業してまず就職を考えるでしょうけど、私の時代はまず結婚でした。女性の自立などを扱っていたゼミの出身者の私でさえ、そうだったのですから（笑）。

山口 僕は5年前に結婚して、いまはハワイに住んでいるですよ。向こうには大きな娘がいて、結婚して子供を産んだのもう孫がいます（笑）。妻はノルウェー系の白人なのですが、

バイキングの末裔だから強いのです。家事からプール掃除まで全て僕がやっていますからね（笑）。彼女はハワイで中学校の先生をしています。ハワイでは太っていればいるほど美しいとされるのですが、僕が110kg、妻が100kgですから、まさに美男美女のカップルですね（笑）。玉岡 奥様は、自立されていて、結婚もして、素晴らしい女性ですね。

山口 日本と違って結婚生活は楽ですね。娘婿とはよくボクシングや相撲をやっていますよ（笑）。娘婿と舅が相撲をするなんて、日本ではあまり考えられないですよ。

玉岡 私の結婚式は生田神社だったのですが、山口さんはもちろん教会で挙げられたのですよね？ 普段とは逆の立場ですが、気分はどうでしたか？

山口 緊張しましたね。お婿さんの気持ちがよく

わかりました。式はハワイの教会で行ったのですが、私は何かとハワイに縁があるのですよ。私に通っていた保育園に、いま孫娘が通っていますから。私の前世はきつとカメハメハ王朝だと思っていますよ（笑）。ハワイは人種差別がないのが良いですね。いまはパールハーバーの近くに住んでいるのですが、最近は航空券も安いので、隔月で日本とハワイを行き来していますよ。

玉岡 ハワイフリークの友人が聞けば羨ましがります。ハワイ





玉岡かおる(作家)

三木市生まれ。神戸文学賞受賞作の「夢食い魚のブルー・グッドバイ」で新潮社より作家デビュー。著書に、「をんな紋」三部作(角川書店)、「天涯の船」(新潮社)など。執筆活動の傍ら、テレビなどのコメンテーターや行政の各種審議会委員などとしても活躍中。2000年加古川市特別文化賞受賞。加古川市在住。

は本当に良いところですよ。いまの新婚旅行の主流はハワイですか？

山口 もちろんハワイも人気ですが、いまはオーストラリアに行くカップルが多いそうですね。ゴールドコーストなどはかなりの人気があるみたいです。

玉岡 ちょうどいま娘がオーストラリアに行っているところなのです。やはりハワイやオーストラリアは、日本人に優しい気がします。

山口 南方系は大らかで良いですね。僕は暑いところが好きなのです。海外で暮らしてみてもわかったのですが、日本でいちばんいい季節は夏ですよ。海外の友人とも「日本の夏は捨てたい」とよく言っているのです。湿気が多くて過ごしづらいと言われますが、このじめじめと

した感じが良いのです(笑)。

おはよう、ありがとう、
ごめんなさいを忘れずに

玉岡 いまは結婚がゴールになっている気がするのです。私は結婚して23年ですが、いま改めて23年を振り返ると、結婚とは生活であり、そのスタートだったと思うのです。

山口 日本の大学受験と同じですよ。入学はゴールではなくスタートですから。僕が式の説教でよく使う言葉があります。「ふたりはこれから港を旅立つ。しかし順風満帆にはいかない。その時はいつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい」、そしてもうひとつ、「おはよう、ありが



山口光（ディアコニア教会主管牧師）
1956年神戸市生まれ。聖ミカエル国際学校、関西学院大学社会学部、聖公会神学院、国際聖書学院にて学ぶ。現職のほか、ホテルオークラ神戸のブライダル目式者、社会福祉施設オリンピアのチャプレンも務める。妹尾医院リハビリ科マッサージ師、ピアニスト、ゴスペルシンガー、大阪クリスチャンセンター理事など多方面で活躍。家族はハワイに妻と一女、孫一人。

とう、ごめんなさいを忘れずに、寝る前にお互いの健康を喜びなさい」と必ず言っています。これが幸せなのです。日本人の夫婦はまず「アイ・ラブ・ユー」を言わなくなります。そして「ありがとう」「ごめんなさい」も言わなくなる。ここから亀裂が入ってくるのです。

玉岡 女性は「きれいだ」とか、もっと言ってもいいですよ。減るものではないし、男性はもっと女性を誉めても良いと思うですよ（笑）。でも自分の娘の結婚を考えると、まだ怖いんですね。下の娘などは一生結婚はしないなどと言っていますよ。いまの女の子は成熟が進んで、結婚に対する妥協点がなかなか見つからないのでしょうね。

山口 もともと聖書では、結婚は政略結婚だっ

たのですよ。ですから顔を隠すためのベールをかぶることに歴史があるのです。このルーツは全ての宗教につながっています。だから宗教文化が違ってても、結婚式は似ているのです。

玉岡 私もたかが23年続いているだけです。結婚は素晴らしいものだと思っています。苦しいこともたくさんありましたが、自分を成長させてくれたと思います。私のときは母が、「だまされたと思って結婚してみなさい」と言っていたのですが、本当に一度は結婚するべきだと思います（笑）。

山口 『カジノ』という映画があるのですが、そのなかでロバート・デ・ニーロが、シャロン・ストーンにプロポーズをするシーンがあるので、宝石や毛皮などの豪華なプレゼントのあと、



デニローが「こんなものは大したものじゃない。大切なのは、お互いの命と命を預けあうことだ」と言ったのです。この台詞には、改めて教えられたような気がしましたね。

思い立ったその時が 結婚のしごろ

山口 大阪に比べると神戸の結婚式場では、賛美歌を唄える人が圧倒的に多いですよ。これはいろいろなミッシヨンスクールがあるからです。若い頃から賛美歌に慣れ親しんでいる人が多いのですよ。

玉岡 新しく開かれた港に、まず入るのは宣教師ですからね。神戸は新しい文化が生まれるまちであり、どんな宗教も受け入れる土台がありますよね。そういう意味では「結婚の聖地」だと言えると思います。

山口 一昨年、兵庫県では約3万組が結婚しました。そのうち式を挙げたのは約50パーセントです。しかし入籍後の式も可能ですし、なにもおかしくありません。思い立ったとき、したいと思ったときに結婚のしごろなのです。

ウエディングのまち神戸に向けて キックオフ！ 神戸ウエディングフォーラム開催



- ①基調講演を行うファッションデザイナー桂由美さん。
- ②パネルディスカッションのコーディネーターの仲谷さん
- ③④6名のパネラーにより、ウエディング業界の将来について話し合われた



「神戸をウエディングの街に」を合言葉に、ウエディング業界関係者でつくる神戸ウエディング会議。8月17日には、「神戸ウエディングフォーラム」が、神戸国際会議場で開催された。(株)アシックス会長・鬼塚喜八郎さんによる開会宣言に続き、矢田立郎神戸市長もメッセージを贈った。

基調講演では、ファッションデザイナーの桂由美さんが、「神戸スタイルのウエディングの提案とありますが、欧米では、式式者を市長や町長が務めるシビルウエディングが日常化しています。神戸も他都市に先駆けて実施してみては」と話した。

続いて、大阪学院大学教授・仲谷秀一さんがコーディネーターとなり、パネルディスカッションが開かれた。パネラーは、(株)神戸ポートピアホテル代表取締役社長の中内仁さん、(株)クレ・ドゥ・レーブ代表取締役社長の浅木雄三さん、(株)ジエティービー西日本営業本部広報担当課長・高崎邦子さん、関西セクシィ編集長・河本晃さん。

中でも注目を集めたのは、2007年以降に少子化に拍車がかかることで、挙式件数が確実に減っていくことへの対応について。中内さんは「二極化が進む中で、婚礼の内容を充実させることで、効率的に告知活動を行うことの重要性を実感した」。浅木さんは「少子化を国内だけで考えるのではなく、中国市場へのアプローチも視野に入りたい」。

また、ゲストには(財)沖縄観光コンベンションビューロー調査役・屋良朝治さんと、神戸大学大学院生・前中泉さんが招かれた。屋良さんは、この5年で、沖縄リゾートウエディングが200組から3500組に飛躍的に伸びたことや、スキューバダイビングなどのアフターウエディングの重要性について触れた。「神戸空港ができれば、神戸から多くの人が挙式を挙げてもらえる」と本音もちらり。

最後は、神戸国際観光コンベンション協会常務理事・中野潤一さんが、「業界が一体となつて、神戸ウエディング会議が原点となり、今後の課題に取り組んでいきましょう」と参加者に賛同を求めた。割れんばかりの拍手の中、第一回目のフォーラムは幕を閉じた。

神戸市がファッション都市宣言を行ってから30年が過ぎた。ファッションには、アパレル、グルメ、洋菓子、真珠などの生活にかかわる様々な業種が含まれ、いまや神戸を代表する産業にまで成長した。

ファッション産業に続き、新しい神戸のキーワードとして、期待されているのがウエディング産業。「ウエディングのまち神戸」を全国に向けてPRを行い、神戸の新しい産業に育てていくことを目的に、この度「神戸ウエディング会議」が立ち上がった。現在のメンバーは、ホテルやハウスウエディングの関係者、プロデュース業者、衣装店経営者、食品関係者、行政関係者などで、ウエディング業界の第1線で活躍する人材が中心となっている。

ウエディングにかかわる産業は数多く含まれている。引き出物、宿泊、料理、花、美容、衣装、写真など数え上げればきりが無いばかりではなく、数多くの経済波及効果が予測できる。

神戸をウエディングの街に

神戸の新しい未来を切り開くキーワードとして期待されるウエディング。

このほど、神戸のウエディング業関係者が集い、神戸ウエディング会議が設立された。



現在、神戸市では、産官学、そして市民が一体となって「観光交流都市」を目指しており、観光への集客効果にも期待が高まっている。そして、会議が立ち上がったもうひとつの理由として、神戸市内でウエディング会場がさらに増えていることが挙げられる。今年に入り、婚礼会場の新設や、既存施設の増設が相次いだ。同じ職種間で、パイを取り合うよりも、神戸のウエディング業界がまとまって、パイ自体を大きくしていくという狙いがある。

全国から神戸へウエディングを誘致していくという意味では、来年、神戸空港が開港することで、他都市との連携や利便性が高まり、全国各地から神戸へ訪れやすくなることも期待できる。軽井沢、北海道、沖縄での国内でのリゾート挙式が高まっている中で、都市にしながら、山や海のリゾート感覚を味わえる点も、神戸ウエディングのセールスポイントとなっているようだ。



会議では、業界をどのようにしてまとめていくか、神戸ウエディングをどのようにPRしていくかなど、さまざまな議論が繰り返されている。

「神戸はウエディングが似合うといわれているが、神戸ウエディングのイメージは何なのか」「神戸で式を挙げてもらうためには、シンボルとなるモニュメントをつくってみてはどうか」「この機会に神戸スタイルウエディングというものを確立させてみては」などさまざまな。

去る8月17日には、神戸国際会議場で、神戸ウエディングフォーラムが開催され、業界に対しての呼びかけと共に、専門家を交えた意見交換が行われた。今回のフォーラムは、業界関係者をさらにとりこんでいくことで、組織の裾野を広げていくことに重点を置いている。当初、参加者も250名を見込んでいたのに対して、当日約400名の参加があったことから、ウエディング関係



8月5日、神戸市産業振興センターで開かれた、神戸ウエディング会議にて

者の関心の高さが伺い知れる。

2007年以降には、少子化に拍車がかかり、結婚式の数も減っていくことが確実視されている。ウエディング産業の将来を左右する少子化に対する不安も、参加者の関心を誘う形となったようだ。

ウエディング会議自体も大きな第1歩を踏み出した。今後も、神戸ウエディング会議では、定期的な会合を開催し、業界への呼びかけと共に、実際に結婚を考えているターゲット層へのアプローチを検討していく。

■お問い合わせ

神戸ウエディングフォーラム事務局
〒650-0044
神戸市中央区東川崎町1-8-4
神戸市産業振興センター8F
日本トラストファンド(株)内
078-3674444
FAX 078-3674442
e-mail: info@jit.co.jp



プランナーが語るKOBESTYLWEDDING ①

ホテルオークラ神戸

港町、神戸の素晴らしい眺望、
季節ごとのセンスある演出
こだわりある大人のウェディングを



ホテルオークラ神戸
プライダルコーディネーター
細谷 夕美子さん

メリケンパークの中央に、ポートタワーと肩を並べるようにそびえる「ホテルオークラ神戸」。開業以来、常に最上級のもてなしとサービスを提供し、神戸らしい格調高いウェディングが実現できるとの評判をもつ。「神戸ならではのリゾート感を存分に堪能していただきたいと考えています。」

たとえば、海・山側ともに絶景の34階の宴会場や、屋外ステージとして3階チャペルに隣接するルーフガーデンを設けてあるんですね。海洋博物館やポートタワーなど、港町、神戸らしい風景がまさに目の前。“こなら神戸で式をあげる価値があるわね。”

ともきつと喜んでくれるだろうな”と見学に来られて即決されるカップルもいらっしゃいます。私どももそんな絶好のロケーションを生かすよう、潮風に吹かれながらのフラワ―シャワー、青空に向かって解き放つバルーンリリース、夜景をバックにしたナイトウェディングなど、さまざまな提案をさせていただいています」とプライダルコーディネーターの細谷夕美子さん。

真つ青な空と海が映える昼間の挙式に、神戸港を黄金色の夕陽が染め上げるトワイライトウェディング、そしてきらきらとイルミネーション瞬くナイトウェディングと、時間帯のセレクトは自由自在。もちろん時間帯だけでなく、挙式スタイルも二人のこだわりや好みに応じて選択できる。100名が着席可能な白亜の独立型チャペルほか、ホテル中央には約650坪の日本庭園があり、京都・嵯峨野の竹林、吉野石を配した滝、桜

やツツジなど、季節感いっぱいの景色のなかでガーデン挙式も可能。

「最近では12月限定のクリスマスウェディングに人気が集まっているんですよ。チャペルやバンケットルームの装花はホワイトを基調に、緑と赤をポイントにしたクリスマスステイスのコーディネートをはじめ、チャペル式の聖歌隊を「ゴスペル」に、さらにウェディングケーキにはブッシュ・ド・ノエルをご用意。ホワイトツリーに囲まれた結婚式つて、本当にロマンチックなんです！」

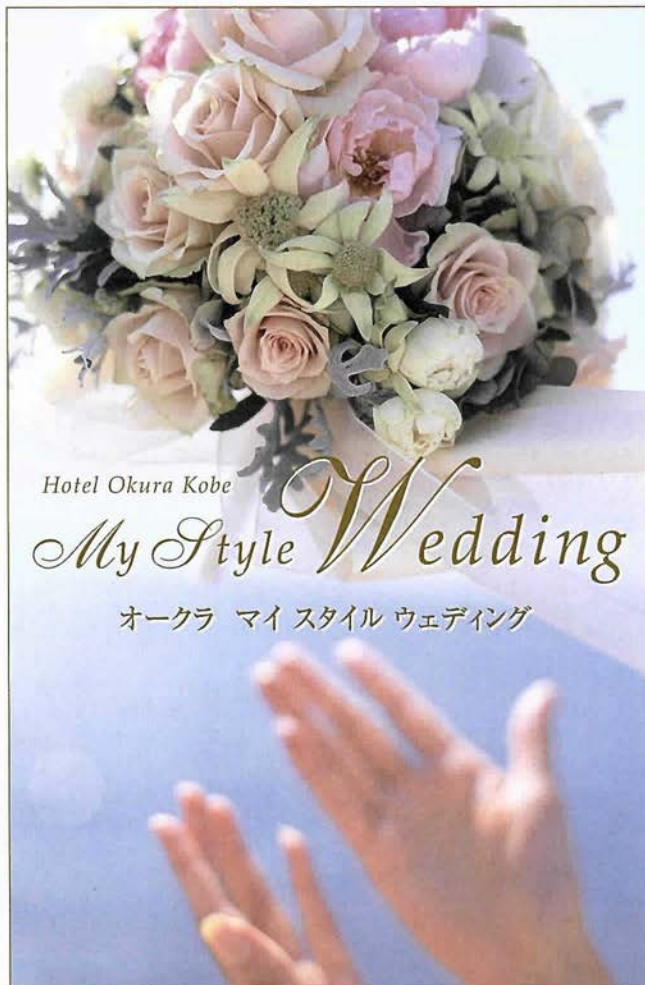
またホテルオークラ神戸といえは、忘れてはならないのが婚礼料理。世界のVIPをもてなす味と心を込めたサービスに、参列した誰もが声をそろえて絶賛。柔軟なアイデアから生まれてくるレシピーは伝統的な和食に、洋の要素を取り入れたり、フレンチでは必ず神戸ビーフや瀬戸内の漁介など地元の新鮮な食材を使用している。オードブルからデザートまで数種ずつラインナップしたメニューの中から、好きな料理を選んでコース仕立てにできる、ブリフィックススタイルも好評だとか。

神戸らしい異国情緒にあふれるシチエーションに囲まれた、ドラマティックなロケーション、ステイタスホテルならではの多彩で充実したファシリテ

イに、世界に誇るホスピタリティ。こだわりのある大人のウェディングを実現できる要素がここには完璧に用意されている。

ホテルオークラ神戸
神戸市中央区波止場町2-1
078-333-3533(宴会予約課)
<http://www.kobe.hotelokura.co.jp>





Hotel Okura Kobe

My Style Wedding

オークラ マイ スタイル ウェディング

Hotel
Okura
Kobe



おふたりの夢や憧れをカタチに——。

オリジナルプラン“マイスタイル”は、
オークラ自慢のお料理に、フラワーコーディネートや
ドレス・メイク&ブーケを、オーダーメイド感覚で
自由に組み合わせてお創りいただけるプランです。
“マイスタイル”なら、おふたりにぴったりの
ウェディングスタイルがきっと見つかります。

■お問い合わせは ご婚約予約係 TEL (078) 333-3533

ホテルオークラ 神戸

<http://www.kobe.hotelokura.co.jp>